

救急、救助



毎年開催される全国消防救助技術大会に向けた救助訓練を行っています。これは消防の救助技術を全国統一の競技形式とした内容で、この大会に出場するため、隊員は訓練を重ね、体力、気力、技術の向上に努めています。

救助訓練

令和元年7月

於：菰野町消防本部

救 急

令和元年中の救急出動件数は1,598件、搬送人員は1,542人でした。1日あたり平均4.4件の出動で、町民27人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,063件(66.5%)で最も多く、続いて一般負傷が265件(16.6%)、交通事故が158件(9.9%)、その他が112件(7%)となりました。

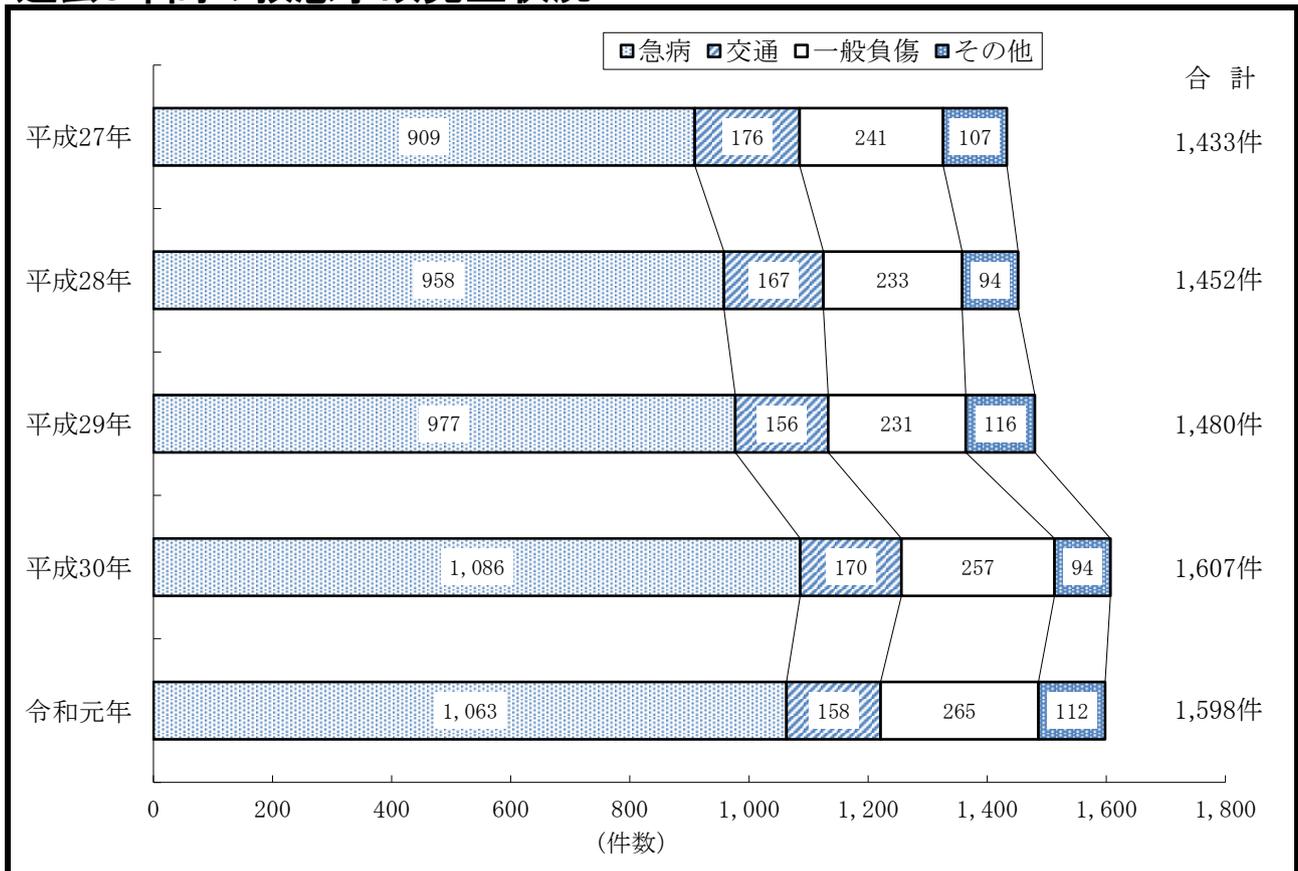
救急事故発生状況

区 別		年 別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
全 国	救急件数	6,054,815	6,209,964	6,342,147	6,605,213	
	発 生 率	477	489	499	520	
三 重 県	救急件数	90,593	91,492	94,160	100,560	
	発 生 率	499	504	519	554	
菰 野 町	救急件数	1,433	1,452	1,480	1,607	1,598
	発 生 率	345	348	354	384	383

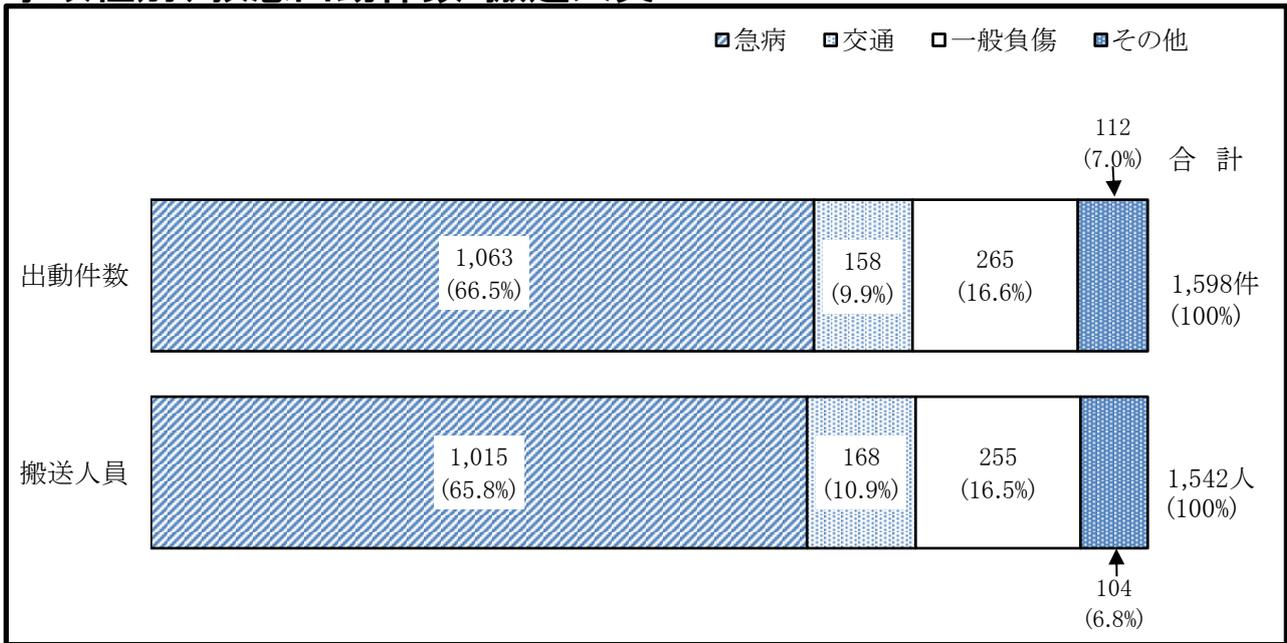
※発生率＝人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,697人(令和元年12月31日現在)

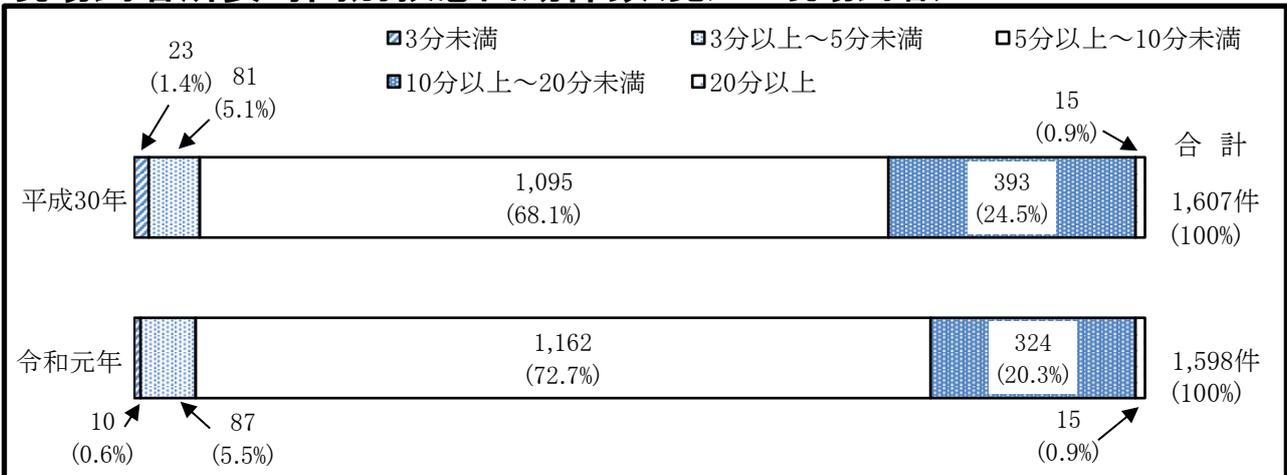
過去5年間の救急事故発生状況



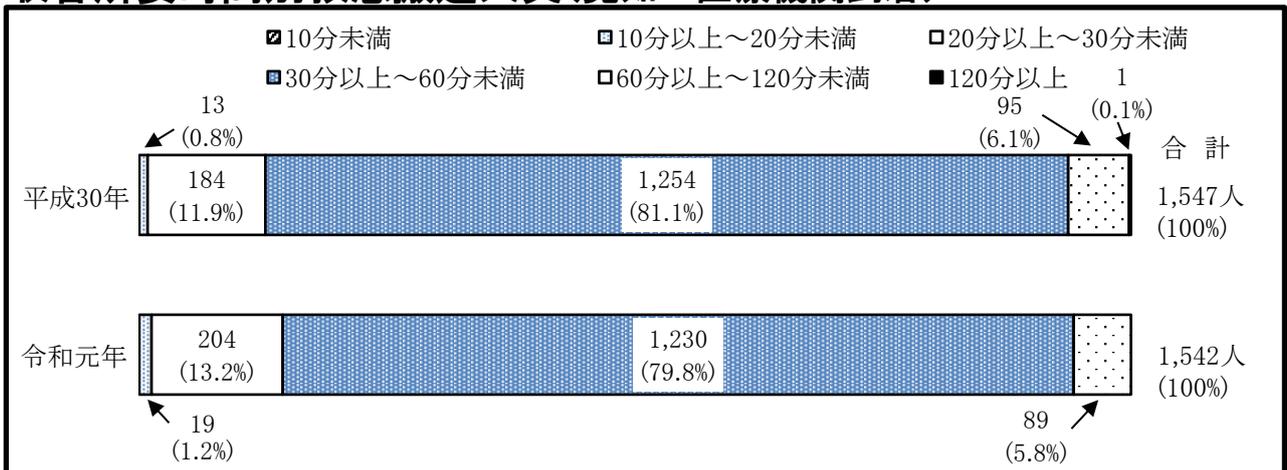
事故種別、救急出動件数・搬送人員



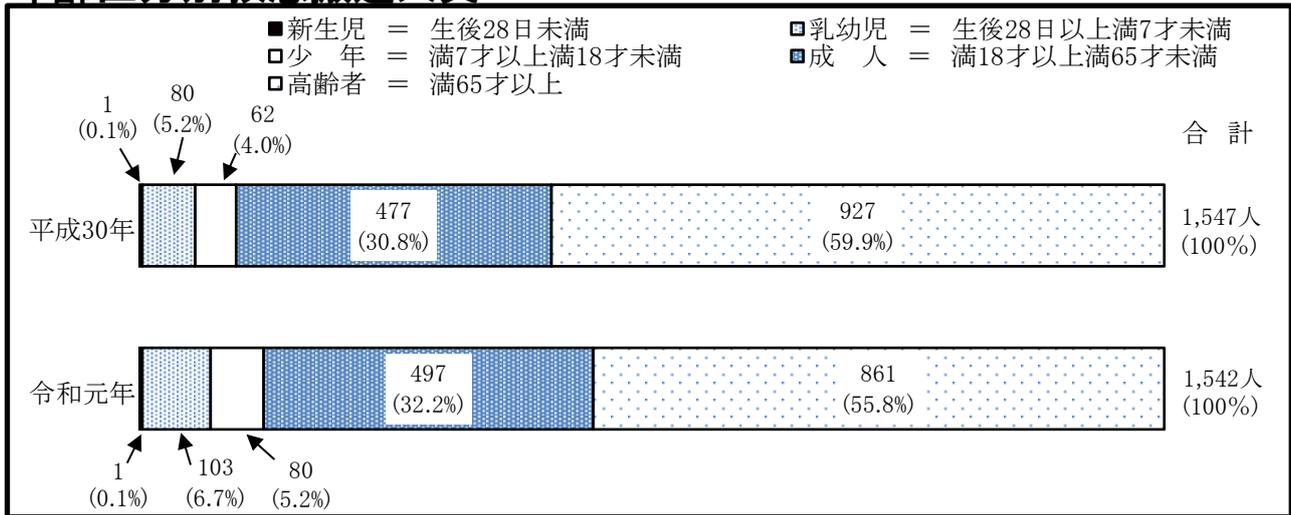
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



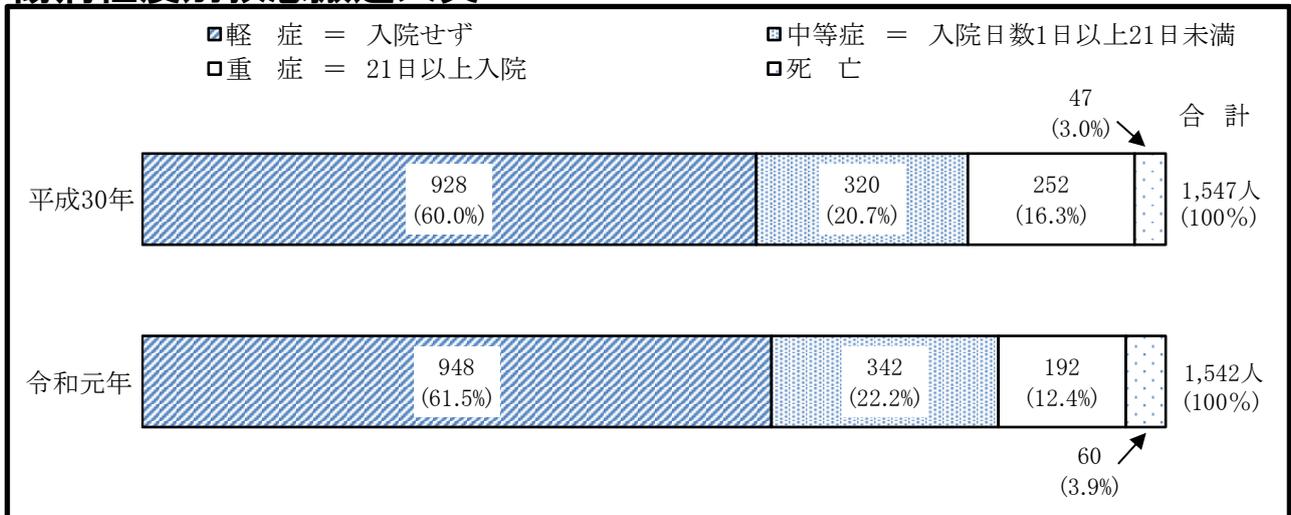
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



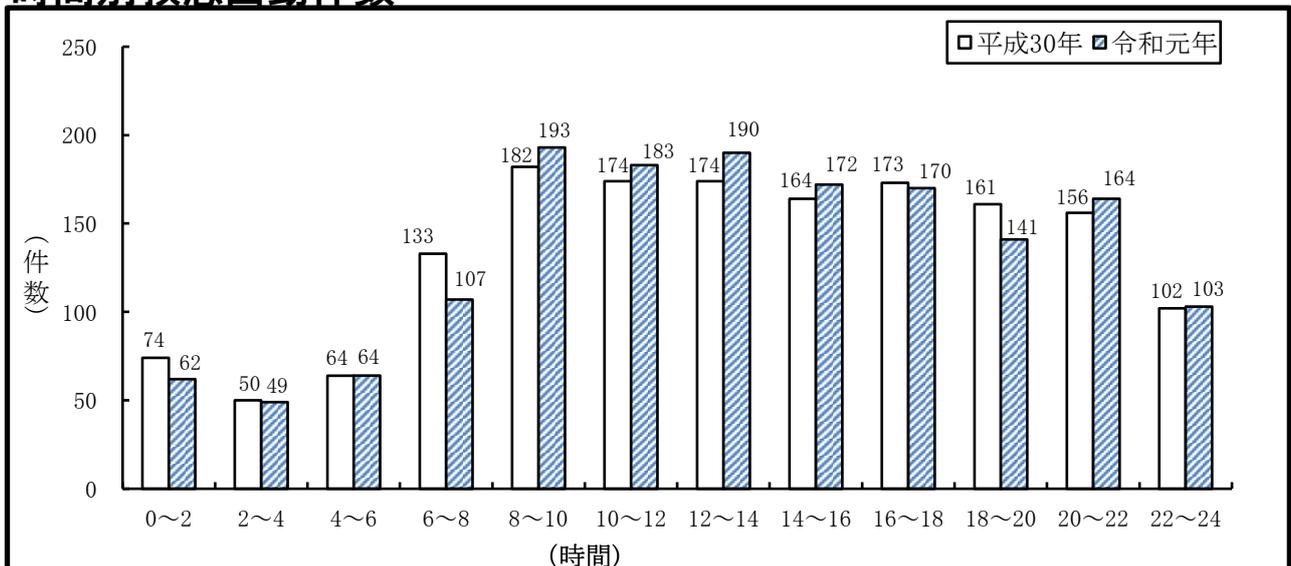
年齢区分別救急搬送人員



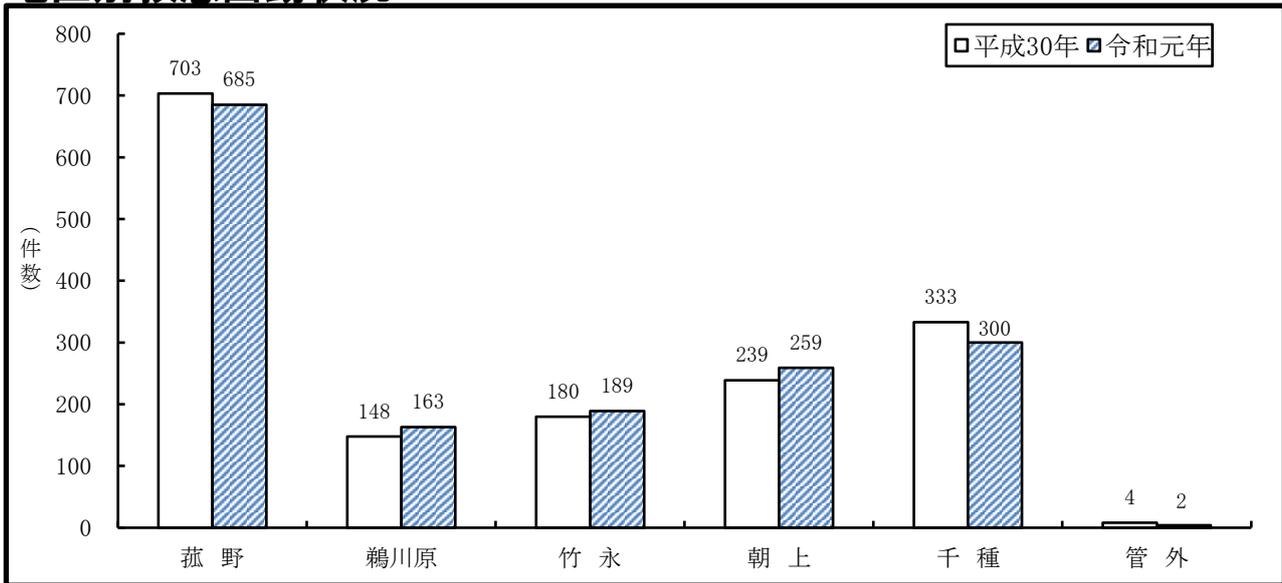
傷病程度別救急搬送人員



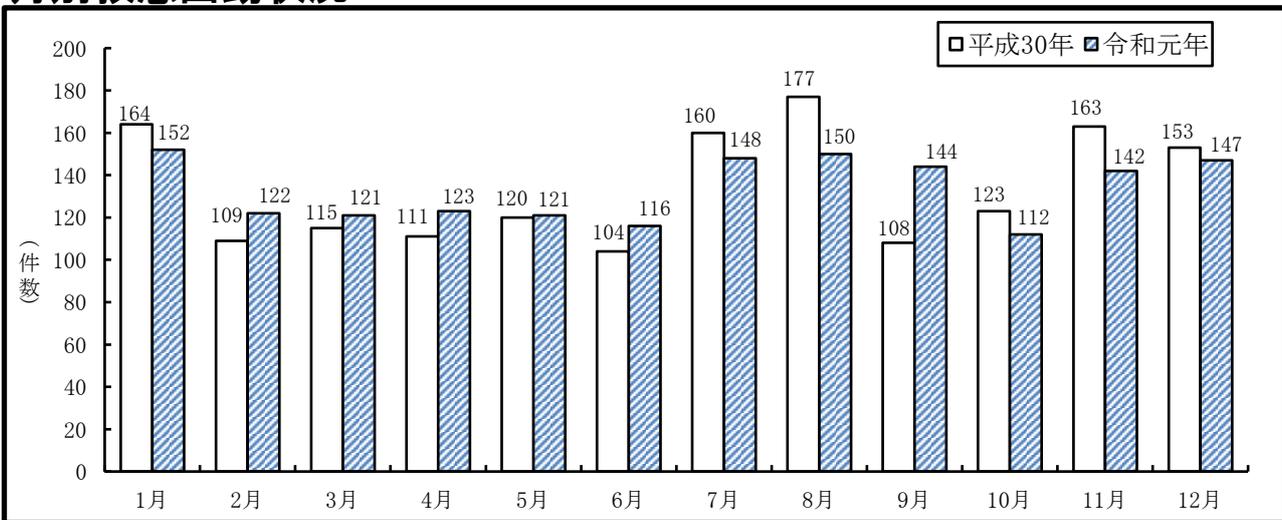
時間別救急出動件数



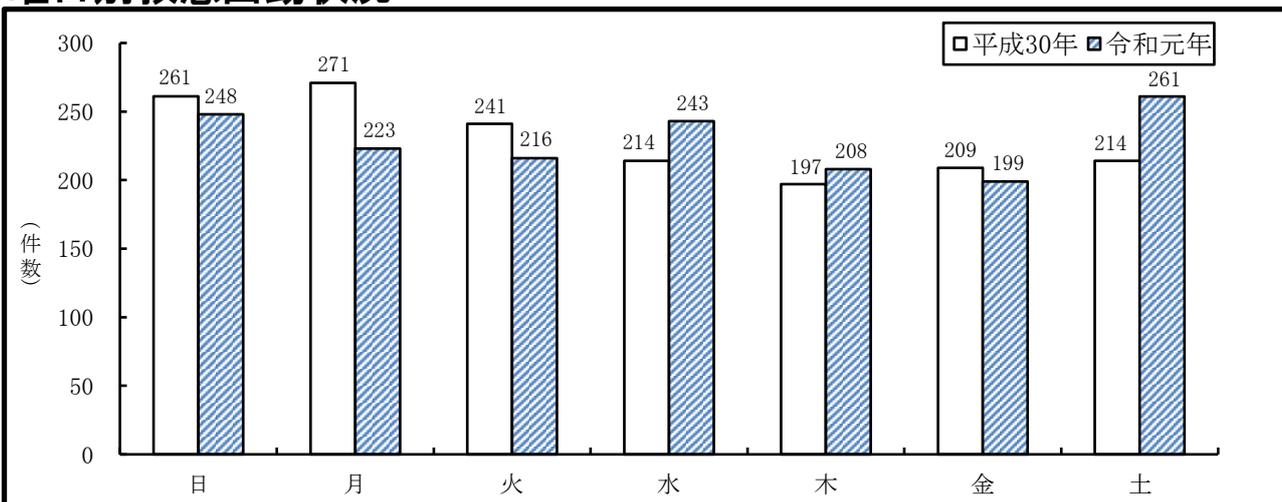
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和元年 合計	平成30年 合計
死亡				6	54	60	47
重症		2	5	61	124	192	252
中等症	1	14	10	71	246	342	320
軽症		87	65	359	437	948	928
その他							
合計	1	103	80	497	861	1,542	1,547

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和元年 合計	平成30年 合計
新生児										1		1	1
乳幼児		1		8		1	27			65	1	103	80
少年				23		7	11			37	2	80	62
成人		2		96	20	3	57	1	5	301	12	497	477
高齢者				41			160	3	4	611	42	861	927
合計		3		168	20	11	255	4	9	1,015	57	1,542	1,547

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和元年 合計	平成30年 合計
死亡				2			4		2	52		60	47
重症				12	6		31	1	5	119	18	192	252
中等症				20	8	2	41		1	244	26	342	320
軽症		3		134	6	9	179	3	1	600	13	948	928
その他													
合計		3		168	20	11	255	4	9	1,015	57	1,542	1,547

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和元年合計	平成30年合計
休日					25	3	4	55	1	3	239	2	332	345
休日以外の日			3		133	17	7	210	3	12	824	57	1,266	1,262
時間内	0～2		1		2	1		8			50		62	74
	2～4				4			6			38	1	49	50
	4～6				8			11			45		64	64
	6～8				8	2		12	1	1	83		107	133
	8～10				19	5	3	24		2	132	8	193	182
	10～12				14	2	2	33		2	116	14	183	174
	12～14				23		1	37	1		111	17	190	174
	14～16				19	3	3	35		3	103	6	172	164
	16～18		2		30	3	2	29	2	4	90	8	170	173
	18～20				11	4		26		3	94	3	141	161
	20～22				13			31			119	1	164	156
22～24				7			13			82	1	103	102	
令和元年計		3		158	20	11	265	4	15	1,063	59	1,598		
平成30年計				170	21	5	257	5	20	1,086	43		1,607	

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	11	20	78	11	120
固定	11	109	85	22	227
人工呼吸	5				5
心肺蘇生	49	3	4	3	59
酸素吸入	292	25	20	19	356
気道確保	64	3	5	4	76
気道確保（特定行為）	10	1			11
保温	429	56	97	39	621
被覆	4	30	82	8	124
除細動	1		2		3
静脈路確保	45	2	2	3	52
薬剤投与	29	1	1	3	34
ブドウ糖投与	9	1			10
その他	3,446	514	677	317	4,954
合計	4,405	765	1,053	429	6,652

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和元年合計		平成30年合計		
	開設別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		
救急告示医療機関	国立		2	2							2	2	1	1	
	公立		636	636	90	90	151	151	75	75	952	952	971	971	
	公的		298	61	72	33	96	35	23	9	489	138	485	138	
	私的	病院		65	65	6	6	8	8	6	6	85	85	81	81
		診療所													
	計		1,001	764	168	129	255	194	104	90	1,528	1,177	1,538	1,191	
その他の医療機関	国立												1	1	
	公立														
	公的		1	1							1	1			
	私的	病院		9	9							9	9	2	2
		診療所		4	3							4	3	6	3
	計		14	13							14	13	9	6	
計	国立		2	2							2	2	2	2	
	公立		636	636	90	90	151	151	75	75	952	952	971	971	
	公的		299	62	72	33	96	35	23	9	490	139	485	138	
	私的	病院		74	74	6	6	8	8	6	6	94	94	83	83
		診療所		4	3							4	3	6	3
	計		1,015	777	168	129	255	194	104	90	1,542	1,190	1,547	1,197	
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
令和元年計			1,015	777	168	129	255	194	104	90	1,542	1,190			
平成30年計			1,043	792	175	134	243	195	86	76			1,547	1,197	

救助出動状況

令和元年中は、31件の救助出動がありました。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。（山岳救助件数16件）

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	そ の 他	2 月 15 日 (金) 15 時 41 分	菰 野 (福 村)	報 知 電 話	
2	そ の 他 (山 岳)	3 月 10 日 (日) 9 時 31 分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
3	そ の 他 (山 岳)	4 月 8 日 (月) 12 時 16 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
4	そ の 他 (山 岳)	5 月 5 日 (日) 16 時 23 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
5	そ の 他	5 月 12 日 (日) 2 時 47 分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
6	そ の 他 (山 岳)	5 月 13 日 (月) 12 時 57 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
7	そ の 他 (山 岳)	5 月 14 日 (火) 10 時 39 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
8	そ の 他 (山 岳)	5 月 25 日 (土) 12 時 36 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
9	そ の 他	5 月 29 日 (水) 21 時 21 分	鶺 川 原 (川 北)	報 知 電 話	
10	交 通	6 月 1 日 (土) 3 時 39 分	新 名 神 下 り 線	報 知 電 話	
11	そ の 他 (山 岳)	6 月 2 日 (日) 10 時 47 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
12	そ の 他 (山 岳)	6 月 3 日 (月) 14 時 11 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
13	交 通	7 月 10 日 (水) 12 時 11 分	鶺 川 原 (大 強 原)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)

加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	4 3	木製のベビーサークルの柵に首が挟まり抜けにくい。	先着の救急隊により救出が完了したため、出場途中で帰署した。
	広報車 救急1号車	4 3	尾高山行者コースを登山中に痙攣を起こした。	背負い搬送で登山口まで救出した。
	広報車 救急1号車	5 3	御在所岳裏道登山道を登山中に滑落し、頭部及び顔面を負傷した。	背負い搬送で登山口まで救出した。
	広報車	4	釈迦ヶ岳水無尾根分岐付近を下山中に両足が痙攣し動けない。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	橋から約2m下の用水路に転落した。	隊員1名が用水路へ進入し、かぎ付きはしごを使用して地上へ救出した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を下山中に転倒し、右足を負傷した。	背負い搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、滋賀県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道登山道を登山中に滑落し、頭部を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳中道登山道を下山中に両足が痺れ歩けない。	背負い搬送で登山口まで救出した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	橋から約3m下の用水路に転落した。	担架を使用し、徒手搬送で、橋上まで救出した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	新名神鈴鹿PA入口側道において路側帯に停車中の大型トラックに普通乗用車が追突した。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援及び漏油対応を行った。
	広報車 救急2号車	4 3	御在所岳裏道登山道を下山中に転倒し左手首を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	広報車	4	御在所岳中道登山道キレット付近にて迷い、崖を下り、登山道へ戻れなくなった。	滋賀県防災航空隊と協力し、ヘリコプターによるピックアップ後、三滝川河川敷へ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	右折待機中の車両に後方から軽四自動車追突し横転、自力で脱出できない。	先着の救急隊により救出されていたため、救出活動は行わず、情報収集及び横転車両の転倒防止を行った。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	そ の 他 (山 岳)	7 月 21 日 (日) 18 時 05 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
15	交 通	7 月 23 日 (火) 14 時 05 分	鶺 川 原 (大強原)	報 知 電 話	
16	交 通	8 月 5 日 (月) 1 時 20 分	朝 上 (小島)	報 知 電 話	
17	そ の 他 (山 岳)	8 月 24 日 (土) 16 時 28 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
18	交 通	8 月 26 日 (月) 11 時 20 分	鶺 川 原 (池 底)	報 知 電 話	
19	自 然 災 害	9 月 6 日 (金) 1 時 16 分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
20	自 然 災 害	9 月 11 日 (水) 16 時 46 分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
21	そ の 他 (山 岳)	10 月 5 日 (土) 9 時 30 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
22	交 通	10 月 9 日 (水) 3 時 10 分	新 名 神 下 り 線	加 入 電 話	
23	そ の 他	10 月 17 日 (木) 15 時 30 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
24	そ の 他	10 月 23 日 (水) 0 時 26 分	竹 永 (永 井)	報 知 電 話	
25	そ の 他 (山 岳)	11 月 2 日 (土) 13 時 23 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
26	交 通	11 月 3 日 (日) 11 時 59 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
27	そ の 他 (山 岳)	11 月 5 日 (火) 13 時 30 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を下山中に国見尾根に迷い込み、雨により疲労し動けなくなった。	介添え搬送で登山口まで救出した。
	救助工作車	4	自転車同士の接触により自転車のクランクとフレームに左足が挟まった。	油圧スプレッダーでフレームを破壊し、足の挟まりを開放した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	自動車同士の衝突により1台が横転し、自力で脱出できない。	先着の救急隊により救出されていたため、救出活動は行わず、漏油対応を行った。
	広報車	4	御在所岳中道登山道を下山中に道に迷い、約3m滑落した。	自力歩行可能であったため、誘導により登山口まで救出した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	自動車同士の衝突により、運転席側のドアが破損し脱出できない。	先着の救急隊と協力し、助手席側から救出後、別の車両の運転手の観察及び情報収集を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	豪雨による避難中の自動車が洪水により走行不能になり、車内に閉じ込められた。	窓から抱きかかえて救出した。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	自動車にて走行中、大雨により陥没した道路に気付かず転落した。	自力で脱出していた傷病者を観察し、救急隊に引き継ぎ後、事故車両の漏油等の確認を行った。
	広報車 資機材搬送車	4 2	御在所岳本谷登山道不動滝付近で約4m滑落し、腰部の痛みにより歩けない。	背負い搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	新名神鈴鹿PA入口側道において路側帯に停車中の大型トラックに大型トラックが追突、追突したトラックの運転手が閉じ込められた。	油圧切断機及び可搬ウィンチで、挟まれ箇所を開放し救出した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	約4m下の空地に転落した。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	下水道工事の為、掘削していたところ壁面が崩れ、約3m転落した。	現場関係者により救出済みであったため、救急隊の活動支援を行った。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道中道分岐付近で両足が痙攣し歩けない。	背負い搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	4 3 3 3	自動車の運転操作を誤り駐車場から転落し立木に衝突した。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行った。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中に両足が痙攣し歩けない。	奈良県防災航空隊と協力し、ヘリによるピックアップ後、三滝川河川敷へ搬送した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
28	交 通	11 月 15 日 (金) 22 時 45 分	朝 上 (田 光)	加 入 電 話	
29	そ の 他 (山 岳)	11 月 16 日 (土) 7 時 48 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
30	そ の 他 (山 岳)	11 月 16 日 (土) 15 時 43 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
31	そ の 他 (山 岳)	11 月 17 日 (日) 12 時 03 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)

加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急2号車	4 3	自動車が道路から約3m下の畑に転落、横転し、自力で脱出できない。	先着していた警察官により事故車内から救出されており、警察官と協力し、道路上まで救出した。
	広報車	4	釈迦ヶ岳庵座谷登山道を登山中に約5m滑落し腰部の打撲により歩けない。	担架を使用し、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで徒手搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	5 3	河川内で作業中に堰堤を登ろうとしたところ、足を滑らせ転落し、右足の負傷により歩けない。	担架を使用し、救急隊と協力して徒手搬送で救急車まで救出した。
	広報車	4	羽鳥峰方面へ登山中に足を滑らせ転倒し、頭部の負傷により歩けなくなった。	介添え搬送で、ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊により県立総合医療センターへ搬送した。

事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	令 元 合 計	平 成 30 年 計	成 年 計
	建 物	他											
出 動 件 数			8		2					21	31	34	
救 助 人 員			4		3					17	24	31	

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	令 元 合 計	平 成 30 年 計	成 年 計
	建 物	他											
救 助 隊 員			32		8					88	128	125	
消 防 隊 員			15								15	11	
救 急 隊 員			27		9					33	69	82	
合 計			74		17					121	212	218	

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	令 元 合 計	平 成 30 年 計	成 年 計
	建 物	他											
救 助 工 作 車			8		2					6	16	17	
タ ン ク 車													
ポ ン プ 車			5								5	5	
救 急 車			9		3					11	23	27	
指 揮 車												1	
広 報 車										15	15	17	
資 機 材 搬 送 車										1	1		
そ の 他 の 車 両													
合 計			22		5					33	60	67	

※その他の車両とは、査察車と防災広報車